目次

メニュー

索引

SONY

WALKMAN

操作ガイド

NW-S203F / S205F

2-699-315-**03** (1)

目次
メニュー
索引

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、付属のSonicStageソフトウェアをインストールすれば、SonicStageのヘルプを参照できます。

– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。

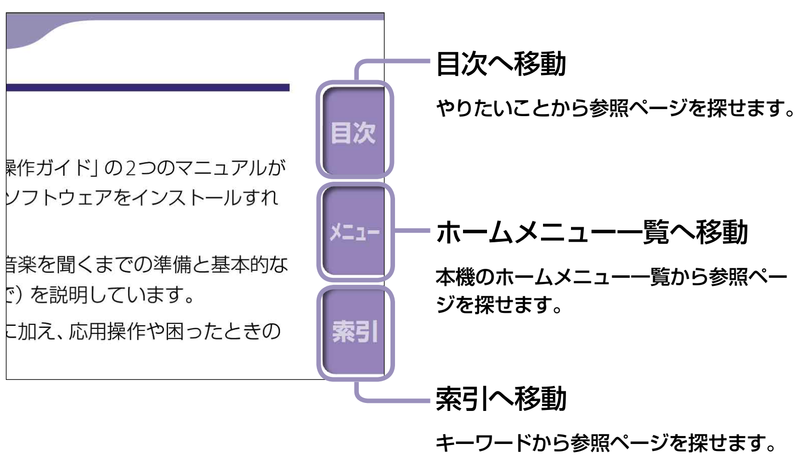
– この「操作ガイド」は、本機の基本操作に加え、応用操作や困ったときの対処法を説明しています。

– SonicStageのヘルプは、SonicStageの操作について詳しく説明しています（☞3ページ）。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使うには

右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。



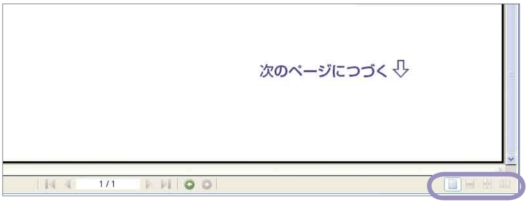
ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：（☞3ページ）
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、◀ や ▶ ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

次のページにつづく ⇩

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。



単一ページ

1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ

ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

SonicStageのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、SonicStageを使う操作について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1. **SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

目次

次のページにつづく ⇩

困ったときは

その他

目次
メニュー
索引

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号　火災　破裂　感電

行為を禁止する記号　禁止　接触禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない。

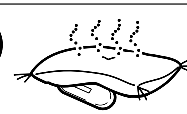
突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



目次
メニュー
索引

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- □ ヘッドホン（1）
- □ ヘッドホン延長コード*（1）
- □ USBケーブル（1）
- □ アームバンド**（1）
- □ クリップ*（1）
  本機を携帯するときに、衣服などに装着するために使います。
- □ CD-ROM***（1）
  - ー SonicStageソフトウェア
  - ー 操作ガイド（PDF）
- □ クイックスタートガイド（1）
- □ 保証書（1）
- □ ソニーご相談窓口のご案内（1）
- □ カスタマー登録のお願い（1）

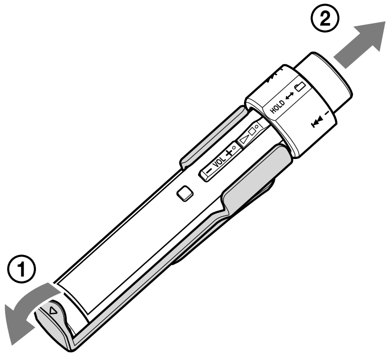
*　ソニースタイルオリジナルモデルには付属しません。
**　ソニースタイルオリジナルモデルにのみ付属しています。
***　音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

クリップを取り付ける

本体の表示窓を上側にして、クリップにスライドしてセットする。
本体をしっかりと奥まで押し込んでください。

クリップを取りはずすには

クリップの底面を▽の方向に軽く押し開いてロックを解除し①、本体を抜いてください②。



次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

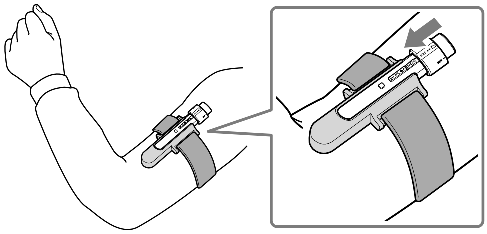
アームバンドを取り付ける

以下の手順で本体をアームバンドに取り付けてください。

1 **アームバンドの面テープをはがし、腕を通して面テープの仮留めをする。**

2 **本体の表示窓を上側にして、アームバンドのホルダー部にスライドしてセットする。**

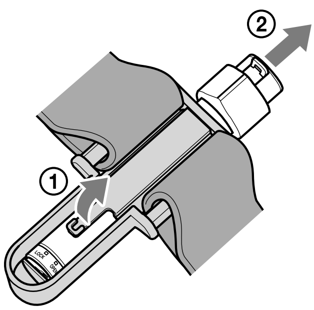
本体をしっかりと奥まで押し込んでください。



3 **表示窓が見やすい位置になるよう調整し、面テープできつくならないように固定する。**

アームバンドを取りはずすには

ホルダー部裏面のロックを矢印の方向に引いて解除し①、本体を抜いてください②。



シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面に記載されています。

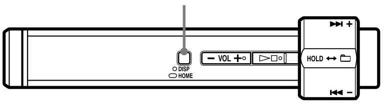
または、本機でシリアルナンバーを確認することもできます。詳しくは51ページをご覧ください。

目次
メニュー
索引

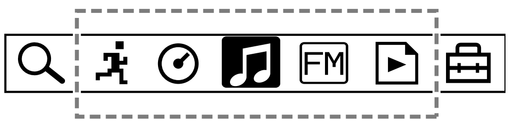
ホームメニュー一覧

本機のDISP/HOMEボタンを押したままにするとホーム画面が表示されます。
ホーム画面は、本機の各機能の入り口になり、曲の検索や設定変更など以下の機能を実行できます。

DISP/HOMEボタン



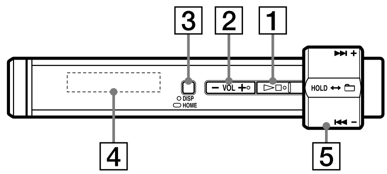
ホーム画面*



* 選択できるアイコンの種類は最大7つあり、現在利用している機能によって変化します。一度に表示されるアイコンは中央の5つです。シャトルスイッチを回して選択し、►■ボタンを押して決定します。

目次
メニュー
索引

各部の名前



1 ►■*（再生／停止）ボタン

表示窓の左下に►が表示され、再生が始まります。もう1度押すと■が表示され、再生が停止します。
お買い上げ直後や、パソコンからUSBケーブルを抜いた直後に►■ボタンを押すと、本機内のはじめの曲から再生が始まります。
表示窓にメニュー項目が表示されているときは、その項目を決定します。

ヒント

- 本機には電源ボタンがありません。►■ボタンを押して再生またはFM放送の受信を停止すると、数秒後に自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。再生待機状態でG Sensorが無効になっているときは、電池の消耗はほとんどありません。

2 VOL（ボリューム）＋*/－ボタン

音量を調節します。

* 凸点が（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

3 DISP（ディスプレイ）/HOME（ホーム）ボタン

曲の再生中/停止中に表示画面を切り換えます（☞28ページ）。
押し続けると、ホーム画面を表示します。
ホーム画面のメニューを表示しているときは、再度押すと1階層上のメニューに戻り、押し続けるとホーム画面に戻ります。

4 表示窓

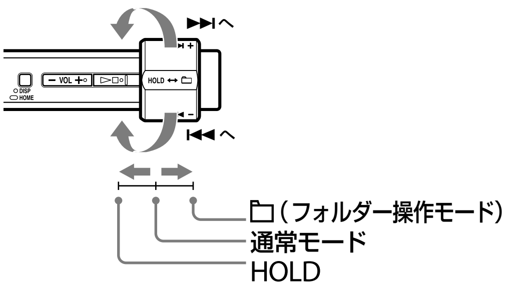
☞13ページをご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

5 シャトルスイッチ

シャトルスイッチを回してメニュー項目を選んだり、曲の頭出しや早送り/早戻しができます。
また、シャトルスイッチを引いたり押し込んだりして、フォルダー操作モード/通常モード/HOLDの位置にすることができます。



HOLD（ホールド）機能について

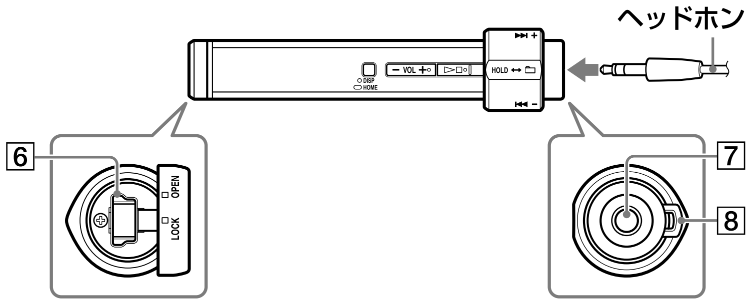
カバンに入れて使うときなど、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
シャトルスイッチをHOLDの位置まで押し込むと、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中にボタンを押したり、シャトルスイッチを回すと、現在時刻と「HOLD」、（電池残量）が表示されます。
シャトルスイッチを通常モードまたはフォルダー操作モードの位置に戻すとホールドが解除されます。

シャトルスイッチの操作について

通常モード	
こんなときは	**シャトルスイッチ操作**
再生中	
次の曲の頭出し	▶▶I へ短く回す。
再生中の曲の頭出し	I◀◀ へ短く回す。
再生中の曲の早送り	▶▶I を回して止めたい場所で手を離す。
再生中の曲の早戻し	I◀◀ を回して止めたい場所で手を離す。
停止中	
次の曲、さらに次の曲を選曲	▶▶I へ回したままにする。
停止中の曲、さらに前の曲を選曲	I◀◀ へ回したままにする。

フォルダー操作モード	
こんなときは	**シャトルスイッチ操作**
再生中	
次のアルバム・アーティストの最初の曲の頭出し	▶▶I へ短く回す。
再生中のアルバム・アーティストの最初の曲の頭出し	I◀◀ へ短く回す。
停止中	
次のアルバム・アーティストの最初の曲、さらに次のアルバム・アーティストの最初の曲を選曲	▶▶I へ回したままにする。
停止中のアルバム・アーティストの最初の曲、さらに前のアルバム・アーティストの最初の曲を選曲	I◀◀ へ回したままにする。

次のページにつづく ⇩



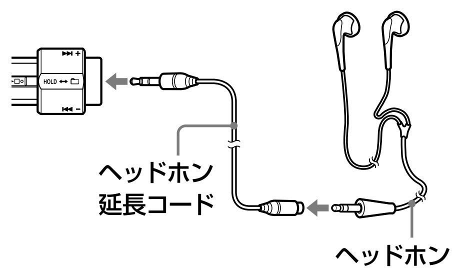
6 USBケーブル接続ジャック

ふたを左に回してOPEN位置にあわせて開き、付属のUSBケーブルの小さいほうのコネクタを接続します。ふたを閉じるときは、OPEN位置にあわせてふたを閉め、LOCK位置まで右に回してください。

7 ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホン延長コードを使うとき



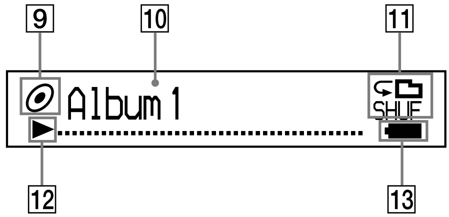
8 ストラップ取り付け口

ストラップ（別売り）を取り付けます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示窓



9 曲の並び順（Sort）/♫アイコン表示

音楽再生の操作中は、♫アイコンや現在の曲の並び順アイコン（👤：アーティスト名順、◎：アルバム名順、👤◎：アーティストごとのアルバム名順）が表示されます。
通常モードのときは♫アイコンが、フォルダー操作モードのときは曲の並び順アイコンが表示されます。

10 文字情報／グラフィック表示

アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示、エラー表示、メニュー画面などが表示されます。
音楽再生の操作中は、通常モードのときは「曲タイトル/アーティスト名・アルバム名」が、フォルダー操作モードのときは「アルバム名/アーティスト名/プレイリスト名」が表示されます。
画面の表示内容は、DISP/HOMEボタンで変更できます（☞28ページ）。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換わるように設定することもできます。

11 再生方法（プレイモード）表示

現在の再生方法（プレイモード）のアイコンが表示されます（☞19ページ）。プレイモードが「Normal」に設定されている場合は、何も表示されません。

12 再生状態表示

現在の再生状態（►：再生中、■：停止中、◄◄（►►）：早戻し（早送り）、|◄◄（►►|）：現在の曲（次の曲）の頭出し）が表示されます。

13 電池残量表示

電池残量が表示されます。

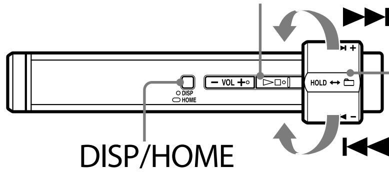
ヒント

- FMチューナーの表示については「FM放送を楽しむ」（☞61ページ）をご覧ください。

目次
メニュー
索引

曲を再生する（ALL SONGS）

本機内の曲を再生します。



1 **ホーム画面が表示されるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して ♫（ALL SONGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、本機内のすべての曲の、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをI◀◀（▶▶I）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをフォルダーの位置にし、I◀◀（▶▶I）へ短く回すと再生中のアルバム／アーティスト（次のアルバム／アーティスト）の最初の曲を頭出しします。

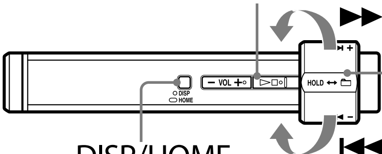
ヒント

- Play Modeメニュー（☞19ページ）で再生方法を変更すると、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- 曲の並び順は、Sortメニュー（☞30ページ）で設定されている順番になります。お買い上げ時の設定では、「アルバム名順」に曲が並びます。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する（PLAYLIST）

SonicStageで作成したプレイリストを再生します。SonicStageでプレイリストの名前を変更すると、変更した名前で本機に表示されます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。



ご注意

- (PLAYLIST) を選んだときは、ホーム画面に (SEARCH) は、表示されません。

❶ **ホーム画面が表示されるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して (PLAYLIST) を選び、►■ボタンを押して決定する。**

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、最初のプレイリストの、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

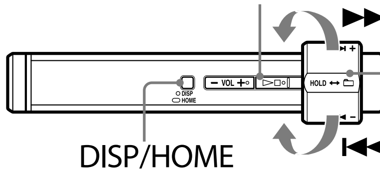
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをI◄◄（►►I）へ短く回すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中にシャトルスイッチをフォルダーの位置にし、I◄◄（►►I）へ短く回すと再生中のプレイリスト（次のプレイリスト）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- Play Modeメニュー（☞19ページ）で再生方法を変更すると、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。

聞きたい曲を探す（SEARCH）

「曲名」、「アーティスト名」または「アルバム名」から聞きたい曲を探せます。



曲名から探す（Song）

1 ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して （SEARCH）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Song>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

曲一覧が表示されます。

4 シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞19ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アーティストから探す（Artist）

1 ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して🔍（SEARCH）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Artist>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

アーティスト一覧が表示されます。

4 シャトルスイッチを回して聞きたいアーティストを選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

5 シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。

6 シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞19ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

次のページにつづく⇩

目次
メニュー
索引

アルバムから探す（Album）

1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**
2. **シャトルスイッチを回して🔍（SEARCH）を選び、►■ボタンを押して決定する。**
3. **シャトルスイッチを回して「Album>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   アルバム一覧が表示されます。
4. **シャトルスイッチを回して聞きたいアルバムを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだアルバムの曲一覧が表示されます。
5. **シャトルスイッチを回して再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

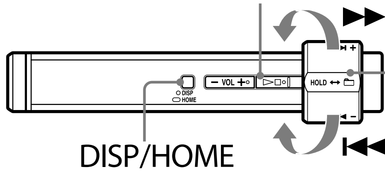
ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞19ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

目次
メニュー
索引

再生方法を変える（Play Mode）

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。
また、G Sensorメニュー（☞43ページ）を有効にすることで本機を3回振って再生方法を切り換えることができます（☞21ページ）。



❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Play Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回してプレイモード（☞20ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
Normal/表示なし	再生中の曲以降のすべての曲を1回再生し、停止します。（お買い上げ時の設定）
Folder（フォルダー）/🗀	再生中の曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を1回再生し、停止します。
Repeat All（全曲リピート）/ ↻	再生中の曲を再生したあと、すべての曲を繰り返し再生します。
Repeat Folder（フォルダーリピート）/↻🗀	再生中の曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat 1 Song（1曲リピート）/↻1	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）/↻ SHUF	再生中の曲を再生したあと、すべての曲を順不同に繰り返し再生します。
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）/↻🗀 SHUF	再生中の曲を再生したあと、その曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を、順不同に繰り返し再生します。

* Sortメニュー（☞30ページ）で「Album」または「Artist/Album」が設定されている場合は、アルバムが再生範囲になります。Sortメニューで「Artist」が設定されている場合は、アーティストが再生範囲になります。

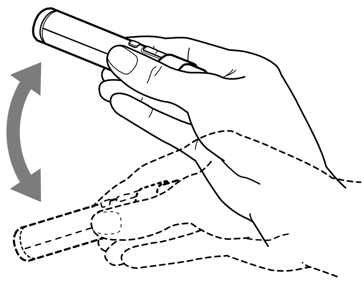
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

3回振って再生方法を切り換える（Shuffle Shake）

再生中に本体を3回振って、プレイモード（シャッフルのオン/オフ）を切り換えることができます。

イラストのように表示窓を上向きにして本体を持ち、2秒に3回のリズムで上下に振ってください。効果音が流れプレイモードが切り換わります。



再度、3回振ると変更前のプレイモードに戻ります。

3回振ったときのプレイモードの変化一覧

モードの種類	変化
Normal	Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）
Folder（フォルダー）	Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）
Repeat All（全曲リピート）	Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）
Repeat Folder（フォルダーリピート）	Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）
Repeat 1 Song（1曲リピート）	変化しません。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）	Repeat All（全曲リピート）
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）	Repeat Folder（フォルダーリピート）

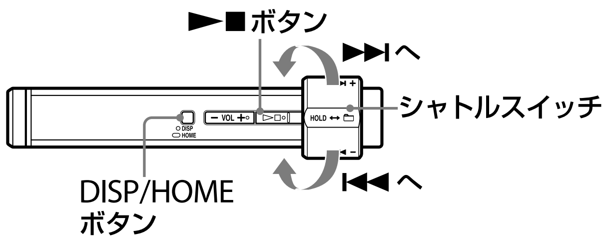
ご注意

- G Sensorメニュー（☞43ページ）を「OFF」に設定している場合はこの機能は使用できません。
- 以下の状態のときは3回振ってプレイモードを変える機能は使用できません。
  - Music Pacerメニューで自動選曲（☞24ページ）を「ON」にしているとき
  - FMチューナー使用時
  - HOME画面を表示しているときや、SETTINGSメニュー使用時
- 本体を振るときは周りのものにぶつけたり、落としたりしないようご注意ください。
- 3回振ってプレイモードを切り換えたときは、歩数計のカウントに誤差が生じる場合があります。
- 3回振ってプレイモードを変更した直後に再度振ってもプレイモードは変わりません。3回振ったあとは2秒以上待ってから再度振ってください。

目次
メニュー
索引

目標を設定して再生する（Set Target）

再生時間、再生中に消費したいカロリー、再生時間中に到達したい移動距離などを設定して運動し、設定した値に達するまで本機内の曲を再生します。



---

❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

---

❷ **シャトルスイッチを回して（SPORTS MODE）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

---

❸ **シャトルスイッチを回して「Set Target>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

---

❹ **シャトルスイッチを回して目標値の種類（☞23ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

お買い上げ時は「Time」に設定されています。

---

❺ **シャトルスイッチを回して手順❹で選択した目標に対する設定値（☞23ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

---

❻ **シャトルスイッチを回して「Start」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

曲が設定されているプレイモードで再生され、目標値がカウントダウンされます。
設定した目標値に達すると、再生が停止します。

通常の再生に戻すには

カウントダウン中に手順❶～❷を行い、「OFF」を選びます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

目標設定値一覧

目標の種類	設定値
Time（時間）	目標時間を設定します。1 ～ 99分の範囲内で1分単位で設定できます。お買い上げ時は「10min」に設定されています。
Calorie（カロリー）	目標消費カロリーを設定します。10 ～ 990 kcalの範囲内で10 kcal単位で設定できます。お買い上げ時は「100kcal」に設定されています。
DIST_km（距離（km））	目標距離を設定します。0.5 ～ 99.5 kmの範囲内で0.5 km単位で設定できます。お買い上げ時は「1.0km」に設定されています。
DIST_mile（距離（mile））	目標距離を設定します。0.5 ～ 99.5 mileの範囲内で0.5 mile単位で設定できます。お買い上げ時は「1.0mile」に設定されています。

ヒント

- 前回設定した目標値があるときは、上記の手順❸で「Start」を選んですぐにカウントダウンを始めることができます。
- 目標値を設定する以外に、動作速度に応じた自動選曲もできます（☞24ページ）。

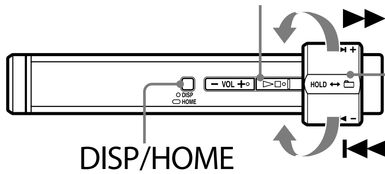
ご注意

- 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩数を正確に計測できないことがあります。
  - ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき
  - 不規則に揺れるバッグの中
  - 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ
  - 上下運動や振動の多い激しいスポーツ
- 本機は、歩数と設定した身長／体重／歩幅（☞41ページ）から距離と消費カロリーの平均的な値を求めています。実際は、装着時の状態や、年齢／性別などによって誤差が生じます。あくまでも目安としてご利用ください。

目次
メニュー
索引

動作にあわせた自動選曲で再生する（Music Pacer）

「SPORTS MODE」で再生しているときは、歩いたり、ジョギングしたりする動きの速さに応じて自動的にプレイリストを変える自動選曲で再生することができます。



1 **ホーム画面が表示されるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して（SPORTS MODE）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Music Pacer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回して「ON」または「OFF」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

- ON：自動選曲が有効になります。動きが遅いときは「Walk Music」に設定されているプレイリスト「Walk」が、動きが速いときは「Run Music」に設定されているプレイリスト「Run」がシャッフル再生されます。（お買い上げ時の設定）
- OFF：自動選曲を行いません。「SPORTS MODE」を選択する前の設定で再生されます。

次のページにつづく ⇩

5 シャトルスイッチを回して「Start」を選び、►■ボタンを押して決定する。

曲が手順 4 で選んだ方法で再生され、設定されている目標値がカウントダウンされます。
設定した目標値に達すると、再生が停止します。

ヒント

- 本機には、お買い上げ時に「Walk」、「Run」のプレイリストが用意されています。また、SonicStageを使って「Walk」、「Run」のプレイリストに曲を追加することもできます。
- 歩調に合わせて再生するプレイリストはお好みで変更することができます（☞26ページ）。
- 再生中に「Walk」や「Run」にプレイリストが変わるときは、曲が変わることをお知らせする音声ガイダンスが流れます。

ご注意

- 本機内にプレイリストが1つもない場合は、Music Pacerメニューは表示されません。
- 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩数を正確に計測できないことがあります。
  - ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき
  - 不規則に揺れるバッグの中
  - 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ
  - 上下運動や振動の多い激しいスポーツ

目次
メニュー
索引

自動選曲のプレイリストを変更する(Set Playlist)

自動選曲を有効にしたときに再生されるプレイリストを、お好みのプレイリストに変更することができます。

ご注意

- 自動選曲を有効にするには、Music Pacer（☞24ページ）が「ON」に設定されている必要があります。

1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（SPORTS MODE）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Set Playlist>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   「SET WALK P.LIST」というメッセージが表示されます。

4. **シャトルスイッチを回して歩調が遅いときに設定したいプレイリストを選び、►■ボタンを押して決定する。**
   「SET RUN P.LIST」というメッセージが表示されます。

5. **シャトルスイッチを回して歩調が速いときに設定したいプレイリストを選び、►■ボタンを押して決定する。**

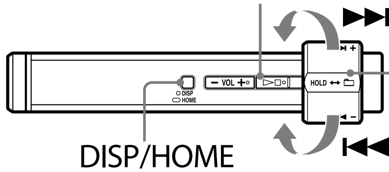
ご注意

- 本機をフォーマットするとお買い上げ時のプレイリストも含めプレイリストはすべて削除されます。

目次
メニュー
索引

ストップウォッチを使う（STOPWATCH）

本機をストップウォッチとして利用することができます。
計測は1秒単位で行われ、9時間59分59秒まで計測することができます。



1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して⊘（STOPWATCH）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **DISP/HOMEボタンを押して計測を開始する。**

4. **再度、DISP/HOMEボタンを押して計測を停止する。**
   計測停止中にDISP/HOMEボタンを押すと表示がリセットがされます。

ヒント
- 曲の再生中でもストップウォッチを使うことができます。
  ただし、ストップウォッチ使用中はストップウォッチ計測画面が表示されます。

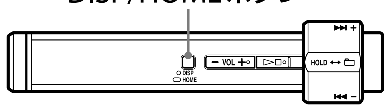
ストップウォッチを終了するには

ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続け、メニュー画面から♫（ALL SONGS）または▶（PLAYLIST）、FM（FM）を選び►■ボタンを押してください。

表示画面を切り換える

曲の再生中または停止中に表示される画面を、お好みに応じて切り換えることができます。

DISP/HOMEボタン



表示画面には以下の種類があり、DISP/HOMEボタンを押すたびに順番に切り換わります。

- Basic：基本表示（お買い上げ時の設定）
- Property：曲属性表示
  現在の曲番号（またはアルバム番号／アーティスト番号）／再生範囲の総曲数（または総アルバム数／総アーティスト数）、再生経過時間、コーデック（曲の圧縮方式）、ビットレート、現在の音質設定（Equalizer）が表示されます。



- Step：歩数表示
  歩数や移動距離、G Sensor設定（G Sensor）が表示されます。
  お買い上げ時の状態では、再生中やFM放送受信中の歩数や移動距離が表示され（☞43ページ）、歩数カウントは毎日午前0:00にリセットされます（☞46ページ）。
- Calorie：消費カロリー表示
  消費したカロリー値、G Sensor設定（G Sensor）が表示されます。
  お買い上げ時の状態では、再生中やFM放送受信中に消費したカロリーが表示されます（☞43ページ）。
  カロリー消費量にしたがって、→→→の順にアイコンが表示され、最大5個まで表示されます。
- Clock：時刻表示
  曜日と月日、現在時刻が表示されます。日時の設定方法については、「現在時刻を設定する（Set Date-Time）」（☞47ページ）をご覧ください。
- DISP：アニメーションが表示されます。

次のページにつづく ⇩

ヒント

- 画面を常に表示させたい場合は、省電力設定（☞59ページ）を「OFF」に設定してください。

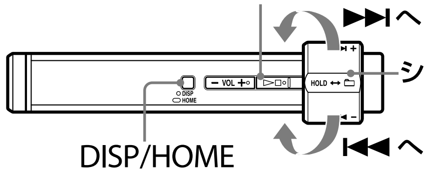
ご注意

- 音質設定（Equalizer）（☞35ページ）を「OFF」に設定している場合、「Property」画面に音質設定は表示されません。
- 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩数を正確に計測できないことがあります。
  - ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき
  - 不規則に揺れるバッグの中
  - 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ
  - 上下運動や振動の多い激しいスポーツ
- 本機は、歩数と設定した身長／体重／歩幅（☞41ページ）から距離と消費カロリーの平均的な値を求めています。実際は、装着時の状態や、年齢／性別などによって誤差が生じます。あくまでも目安としてご利用ください。

目次
メニュー
索引

曲の並び順を変更する（Sort）

曲の並び順を「アルバム名順」、「アーティストごとのアルバム名順」または「アーティスト名順」から設定できます。

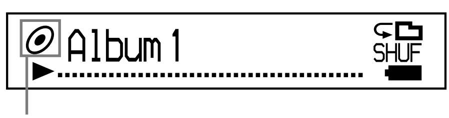


❶ **ホーム画面が表示されるまで DISP/HOME ボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して （SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Sort>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回して曲の並び順（☞31ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**



曲の並び順表示

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOME ボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

曲の並び順一覧

設定項目 / アイコン	説明
Album（アルバム名順）/	曲がアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。（お買い上げ時の設定）
Artist/Album（アーティストごとのアルバム名順）/	曲がアーティストごとのアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。
Artist（アーティスト名順）/	曲がアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、曲名順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アーティスト単位での頭出しになります。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

音量調節の方法を設定する（Volume Mode）

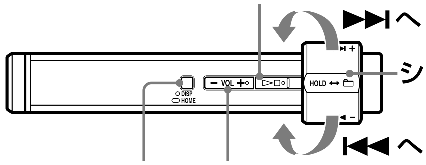
音量調節には2つのモードがあります。

Manual（マニュアルボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

Preset（プリセットボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、あらかじめ設定しておいたLow、Mid、Hiの3段階から音量を選択できます。



プリセットボリュームを設定する（Preset）

1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❻ **シャトルスイッチを回して「Preset」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

「Low」の音量の上下に線が付いて表示されます。

❼ **シャトルスイッチを回してLow、Mid、Hiの各値を設定し、►■ボタンを押して決定する。**

この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、Low、Mid、Hiから音量を選択できます。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS（☞39ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
  AVLSを解除（Off）すると設定した値の音量になります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

マニュアルボリュームに戻すには（Manual）

1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
6. シャトルスイッチを回して「Manual」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

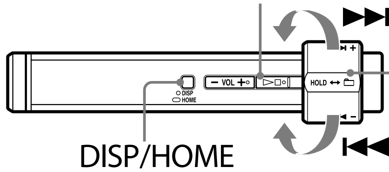
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（Equalizer）

音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。



ご注意

- FMチューナーの使用中は音質設定の変更はできません。

1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Equalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回してお好みの音質設定（☞36ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

音質設定一覧

設定項目	説明
OFF	音質設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
Heavy	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
Pop	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
Jazz	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
Custom	自分で設定した音質になります。設定方法は☞37ページをご覧ください。

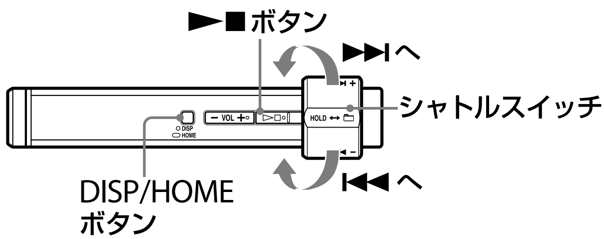
ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

目次
メニュー
索引

お好みの音質を登録する（Preset Custom）

5つの音域を7段階で設定し、お好みの音質を登録することができます。登録した設定は「音質を設定する（Equalizer）」（☞35ページ）の「Custom」で選択できます。



ご注意

- FMチューナーの使用中は音質の登録はできません。

---

1 ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

---

2 シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

---

3 シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

---

4 シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

---

5 シャトルスイッチを回して「Preset Custom>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

最も低い音域の上下に線が付いて表示されます。

---

6 シャトルスイッチを回して各音域のレベルを設定し、►■ボタンを押して決定する。

音域は、低音域から高音域の順に設定していきます。

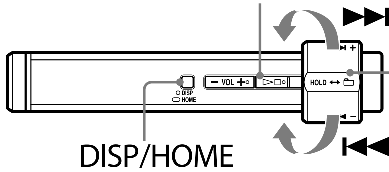
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音量を補正する（Dynamic Normalizer）

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりといったことを避けることができます。



ご注意

- FMチューナーの使用中は音量の補正はできません。

1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「D.Normalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
6. シャトルスイッチを回して「ON」を選び、►■ボタンを押して決定する。

設定を「OFF」にするには

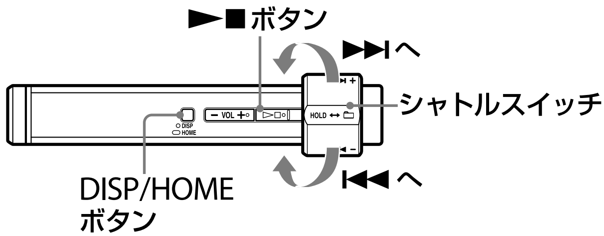
手順6で「OFF」を選びます。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5. **シャトルスイッチを回して「AVLS>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

6. **シャトルスイッチを回して「ON」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順6で「OFF」を選びます。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

ヒント

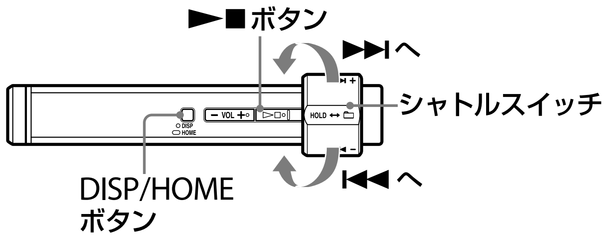
- AVLSが「ON」に設定されているときは、VOL（ボリューム）＋/－を押したときに「AVLS」と表示されます。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。



❶ ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❹ シャトルスイッチを回して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❺ シャトルスイッチを回して「Beep>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❻ シャトルスイッチを回して「OFF」を選び、►■ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

手順❻で「ON」を選びます。

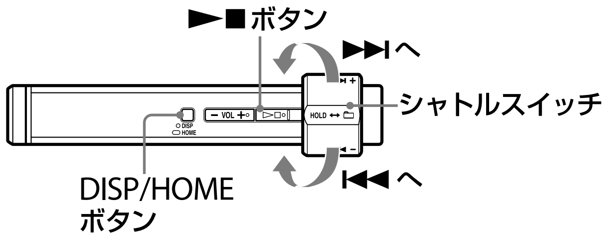
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

消費カロリーや距離用の情報を設定する（Height/Weight）

「SPORTS MODE」（☞22ページ）で再生するときに、消費カロリーや距離を計測するための情報（身長/体重/歩幅）を設定します。



1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

2. シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. シャトルスイッチを回して「Height/Weight>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. シャトルスイッチを回して「inch/lb」または「cm/kg」の単位を選び、►■ボタンを押して決定する。

6. シャトルスイッチを回して体重を選び、►■ボタンを押して決定する。
   お買い上げ時は、「132lb（または60kg）」に設定されています。

7. シャトルスイッチを回して身長を選び、►■ボタンを押して決定する。
   お買い上げ時は、「67inch（または170cm）」に設定されています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

8 「Walk Stride>」画面で►■ボタンを押し、シャトルスイッチを回して歩いているときの歩幅を設定し、►■ボタンを押して決定する。

お買い上げ時は、手順 7 で設定した身長×0.5の数値に設定されています。

9 「Run Stride>」画面で►■ボタンを押し、シャトルスイッチを回して走っているときの歩幅を設定し、►■ボタンを押して決定する。

お買い上げ時は、手順 7 で設定した身長×0.7の数値に設定されています。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 身長の設定値は80 ～ 250 cm（31 ～ 99 inch）、体重の設定値は10 ～ 300 kg（22 ～ 660 lb）の範囲で選べます。設定範囲に含まれない場合は「Less」（最小値）か「More」（最大値）を選ぶこともできます。もっとも近い数値を選んでください。

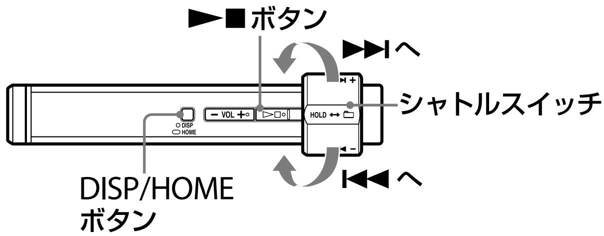
ご注意

- 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩数を正確に計測できないことがあります。
  - ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき
  - 不規則に揺れるバッグの中
  - 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ
  - 上下運動や振動の多い激しいスポーツ
- 本機は、歩数と設定した身長／体重／歩幅から距離と消費カロリーの平均的な値を求めています。実際は、装着時の状態や、年齢／性別などによって誤差が生じます。あくまでも目安としてご利用ください。
- 消費カロリーを計測するには、G Sensorメニュー（☞43ページ）を有効にしておく必要があります。
- 「Height/Weight」で設定する情報は、距離と消費カロリーの計測以外の目的では利用しておりません。また、USB接続によって本機外に情報を取り出すことも行っておりません。
- 手順 8、9 で歩幅を設定したあとに、身長の設定値（手順 7）を変更すると歩幅の設定も再計算されて変わります。

目次
メニュー
索引

G Sensorの設定をする（G Sensor）

本機には加速度を検知するG Sensorが搭載されています。この機能を有効にすることで、歩数のカウント、距離や消費カロリーの計測、本機を3回振ることで再生方法を切り換える（☞21ページ）などの機能を楽しむことができます。
また、G Sensorを無効にすることもできます。



1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して「G Sensor>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5. **シャトルスイッチを回してG Sensorの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   - ON-MusicPB：再生中やFM放送受信中にG Sensorが有効になります（お買い上げ時の設定）。音楽を聞きながらスポーツを楽しみたい場合におすすめします。
   - ON-Anytime：G Sensorが常に有効になります。1日の歩数や消費カロリーを知りたい場合はこの設定をおすすめします。ただし、本機を使用していない場合も常にG Sensorが動作を確認しているため、電池が消耗され本機の使用時間が短くなります。
   - OFF：G Sensorは無効になります。本機を長時間使用したい場合はこの設定をおすすめします。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヒント

- G Sensorの設定を「ON-MusicPB」、「ON-Anytime」に設定したときは、表示画面の「Step」、「Calorie」（☞28ページ）にGマークが表示されます。

ご注意

- 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩数を正確に計測できないことがあります。
  - ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき
  - 不規則に揺れるバッグの中
  - 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ
  - 上下運動や振動の多い激しいスポーツ

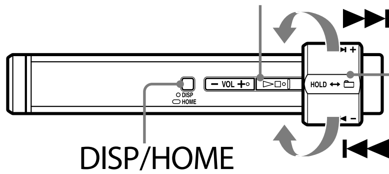
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

歩数カウントの履歴を表示する（Count History）

G Sensorメニューを「ON」（☞43ページ）にして歩数カウントを計測している場合は、歩数カウントの履歴が記録されます。履歴は最新のものから最大7つまで表示することができます。



❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Count History>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

歩数カウントの記録が、日付および歩数/距離/消費カロリーの各数値で表示されます。
シャトルスイッチを回して、前後の履歴に切り換えることができます。

ヒント

- 履歴は常に最新のものが先頭に表示されます。
- Counter Resetメニュー（☞46ページ）を「Daily」に設定しておくと、毎日の履歴をとることができます。
- Reset All Settingメニュー（☞52ページ）を実行することで、履歴を消去することができます。

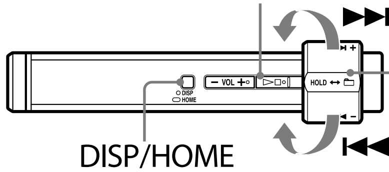
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

歩数カウントのリセット方法を設定する（Counter Reset）

歩数カウントの記録をリセットする方法を設定することができます。
お買い上げ時は「Daily」に設定されています。



1. **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **シャトルスイッチを回して「Counter Reset>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **シャトルスイッチを回して以下のリセット方法の設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   - Now：歩数カウントの記録がリセットされます。
   - Daily：設定されている時刻（☞47ページ）が0:00になったときにリセットされます。
   - OFF：記録をリセットしません。

   「Now」を選んだときは、「OK」を選び►■ボタンを押して決定します。「Cancel」を選んで►■ボタンを押すとリセット方法の設定のメニューに戻ります。

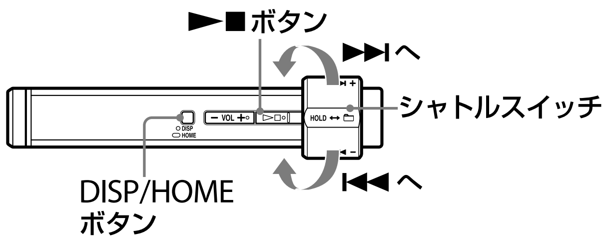
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（Set Date-Time）

現在の日時を設定し、時計を表示させることができます。
パソコンで設定されている日時と自動的に合わせる方法と自分で設定する方法があります。



❶ ホーム画面が表示されるまで DISP/HOME ボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して (SETTINGS) を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❹ シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❺ シャトルスイッチを回して「Set Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❻ シャトルスイッチを回して、「Automatic」か「Manual」を選択し、►■ボタンを押して決定する。

- Automatic：本機をパソコンと接続して SonicStage を起動したときに本機の日時がパソコンの日時に同期して設定されます。
- Manual：手動で日時を設定します。

「Automatic」を選んだ場合は、SETTINGS メニューを終了します。
「Manual」を選んだ場合は、「年」の値の上下に線が付いて表示されます。引き続き手順❼～❽の操作を行ってください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❼ シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、►■ボタンを押して決定する。

「月」の値の上下に線が付いて表示されます。

❽ 手順❼で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力する。

シャトルスイッチを回して現在の日時を合わせ、►■ボタンを押して決定します。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

時計を表示させるには

以下のどちらの方法でも現在時刻が表示されます。

- 「表示画面を切り換える」（☞28ページ）で「Clock」を設定する。
- ホールド中にボタンを押す。

ヒント

- 日付の表示形式は「月/日」または「日/月」から選択できます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。
  詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（☞49ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（☞50ページ）をご覧ください。

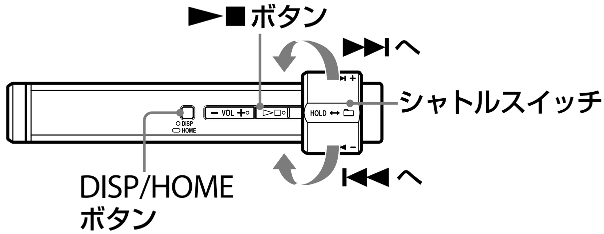
ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 現在時刻が設定されていない場合、画面表示を「Clock」（☞28ページ）にすると、「--」が表示されます。

目次
メニュー
索引

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

設定した日付（☞47ページ）の表示形式を「月/日」または「日/月」から選べます。



❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❺ **シャトルスイッチを回して「Date Disp Type>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❻ **シャトルスイッチを回してお好みの設定を選び、►■ボタンを押して決定する。**

- mm/dd：日付が「月/日」の形式で表示されます。（お買い上げ時の設定）
- dd/mm：日付が「日/月」の形式で表示されます。

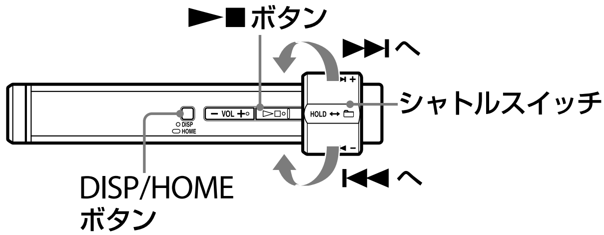
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

設定した現在時刻（☞47ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。お買い上げ時は、「24時間表示」に設定されています。



1. ホーム画面が表示されるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「Time Disp Type>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
6. シャトルスイッチを回して「12h」または「24h」を選び、►■ボタンを押して決定する。

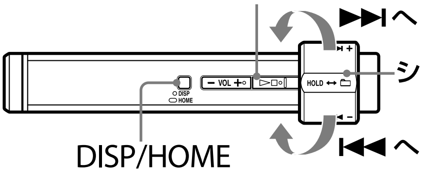
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンを表示することができます。



❶ **ホーム画面が表示されるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回して「Information>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

シャトルスイッチを回すごとに以下の情報が表示されます。

1： **機種名**
2： **メモリー容量**
3： **シリアルナンバー**
4： **ファームウェアのバージョン**

❺ **画面が変わるまで DISP/HOMEボタンを押し続ける。**

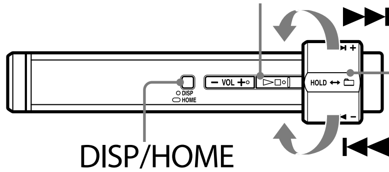
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す（Reset All Setting）

SETTINGSメニューで設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。
お買い上げ時の状態に戻しても、保存しているデータは削除されません。



ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1 再生停止中に、ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

2 シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 シャトルスイッチを回して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5 シャトルスイッチを回して「Reset All Setting>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

6 シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。

お買い上げ時の状態に戻ると、「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

1 階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

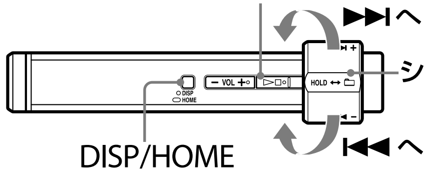
お買い上げ時の設定に戻すのをやめるには

手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

目次
メニュー
索引

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。
初期化すると、音楽データやほかの保存されているデータもすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。



ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1 **再生停止中に、ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5 **シャトルスイッチを回して「Format>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

6 **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

「FORMATTING...」が表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

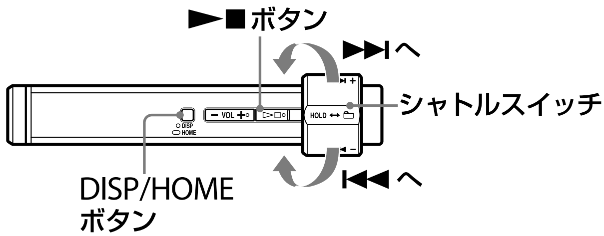
ご注意

- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。

目次
メニュー
索引

USB接続方法を変える（USB Power）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給（USB Bus Powered）が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法（USB Power）を「100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。お買い上げ時は、「500mA」に設定されています。



ご注意

- USB接続中は設定できません。

❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **シャトルスイッチを回して「USB Power>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❺ **シャトルスイッチを回して「100mA」または「500mA」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

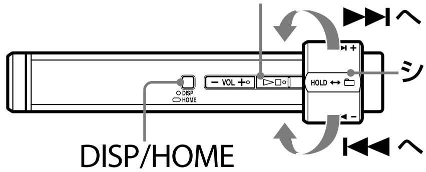
ヒント

- 本機とノートパソコンを接続するときは、ノートパソコンを電源につなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Power）を「100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

目次
メニュー
索引

画面の表示方向を設定する（Disp. Rotation）

本機の画面の表示方向を切り換えます。付属のクリップやアームバンドを使って本機を装着した場合などに、操作しやすい方向に表示を切り換えることができます。



1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Disp. Rotation>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して「ON」または「OFF」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 画面表示方向を切り換えてもシャトルスイッチのI◄◄（►►I）操作や、VOL（ボリューム）＋/－ボタン操作は変わりません。

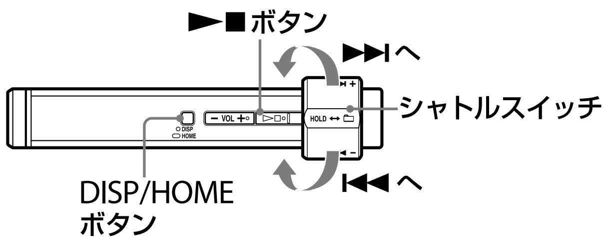
ご注意

- 上記手順で画面表示方向を切り換えても、ALL SONGS（☞14ページ）やPLAYLIST（☞15ページ）での省電力画面（☞59ページ）の表示方向は切り換わりません。

目次
メニュー
索引

省電力画面に設定する（Power Save）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えます。



1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Power Save>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. シャトルスイッチを回して省電力設定（☞60ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく⇩

省電力設定一覧

設定項目	説明
ON-Normal	約15秒間操作がない場合、省電力画面が表示されます。（お買い上げ時の設定）
ON-Super	画面には何も表示されません。電池の消耗を最も抑えることができます。
OFF	再生中やFM放送受信中は、アイコンや文字が常に画面に表示されます。

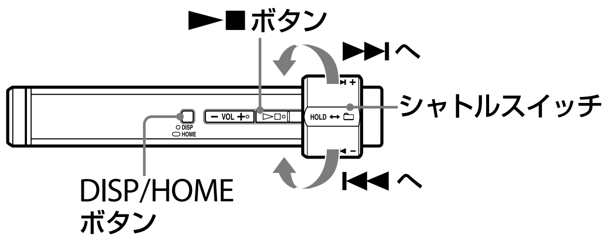
目次
メニュー
索引

FM放送を楽しむ

本機のFMチューナーでは、FM放送とテレビ放送*（1 ～ 3チャンネル）を聞くことができます。あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（☞70ページ）、ヘッドホンを装着してください。

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

1 FMチューナーに切り換える

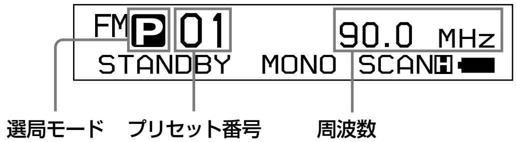


❶ **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **シャトルスイッチを回して FM（FM）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

FMチューナー画面が表示されます。

FMチューナー画面*



* この画面は、お使いのものと異なる場合があります。

次のページにつづく ⇩

FMチューナーをやめてオーディオプレーヤーに戻るには

ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続け、メニュー画面から ♫（ALL SONGS）または ▶（PLAYLIST）を選び►■ボタンを押して曲を再生してください。
プレイリストがないときは ♫（ALL SONGS）を選んでください。

FM放送の音声を一時的に消すには

►■ボタンを押すとFM放送の音声が出なくなります。約5秒後に再生待機状態になり、画面が非表示になります。再び►■ボタンを押すと、FM放送の音声が出るようになります。

ご注意

- 再生待機状態中にシャトルスイッチを ⏮（⏭）へ回すと、前の（次の）プリセット番号または周波数が選択されますが、音声は出ません。また、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押した場合も音声は出ません。
- FM放送を受信中には、ホーム画面に（SPORTS MODE）と（STOPWATCH）は表示されません。
- FM放送を受信中には、DISP/HOMEボタンを押して表示画面を切り換えることはできません。

次のページにつづく ⇩

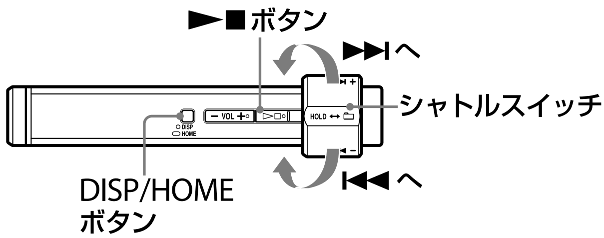
目次
メニュー
索引

2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

設定メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMチューナーをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

- FM Auto Presetを実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。



1 **ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3 **シャトルスイッチを回して「FM Auto Preset>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4 **シャトルスイッチを回して「OK」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
登録が終了すると「COMPLETE」と表示され、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

次のページにつづく ⇩

自動で放送局を登録するのをやめるには

手順❹で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

多くの不要な放送局を受信してしまうときは

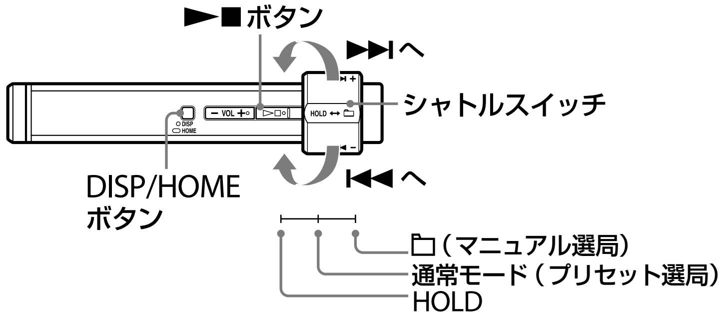
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞68ページ）を「Low」に設定してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、マニュアル選局とプリセット選局の2つのモードがあります。



シャトルスイッチを（フォルダー）の位置にするとマニュアル選局モードになり、通常モードの位置にすると、プリセット選局モードになります。

- **マニュアル選局モード**

  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。

- **プリセット選局モード**

  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

マニュアル選局

M、周波数、プリセット番号の順にFMチューナー画面に表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
前の周波数の選択	⏮へ短く回す。
次の周波数の選択	⏭へ短く回す。
受信できる前の放送局の選択*	⏮へ回し続ける。
受信できる次の放送局の選択*	⏭へ回し続ける。

* シャトルスイッチを⏮（⏭）へ回した状態にしておくと、前の（次の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（☞68ページ）を「Low」に設定してください。
再生待機状態中にシャトルスイッチを⏮（⏭）へ回すと、周波数が減少（増加）しますが、前の（次の）放送局は見つけられず、音声も出ません。

プリセット選局

P、プリセット番号、周波数の順にFMチューナー画面に表示されます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
登録されている前のプリセット番号の選択	⏮へ短く回す。
登録されている次のプリセット番号の選択	⏭へ短く回す。

ご注意

- 放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（☞63ページ）。

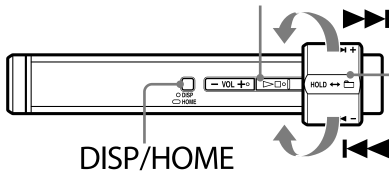
よりよく受信するには

- ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。

目次
メニュー
索引

お好みの放送局をプリセット登録する

「FM Auto Preset」（☞63ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。



❶ **マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ（☞65ページ）。**

❷ **►■ボタンを押し続ける。**
手順❶で選んだ周波数がプリセット登録され、プリセット番号が表示されます。

ヒント

- プリセットには、最大30局（P01 ～ P30）まで登録できます。

ご注意

- プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには

❶ **削除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。**

❷ **►■ボタンを押し続ける。**

❸ **シャトルスイッチを回して「OK」選び、►■ボタンを押して決定する。**
登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

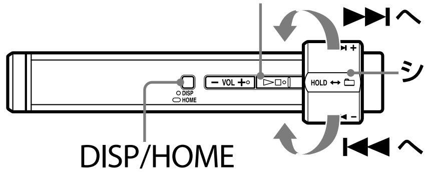
登録した放送局を削除するのをやめるには

手順❸で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

目次
メニュー
索引

受信感度を変更する（Scan Sens）

「FM Auto Preset」（☞63ページ）や「マニュアル選局」（☞65ページ）を行うときに、受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまうことがあります。このようなときは、受信感度を「Low」に設定してください。お買い上げ時の設定は「High」になっています。



❶ ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。

❷ シャトルスイッチを回して（SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

❸ シャトルスイッチを回して「Scan Sens>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

❹ シャトルスイッチを回して「Low」を選び、►■ボタンを押して決定する。

受信感度を元に戻すには

手順❹で「High」を選び、►■ボタンを押します。

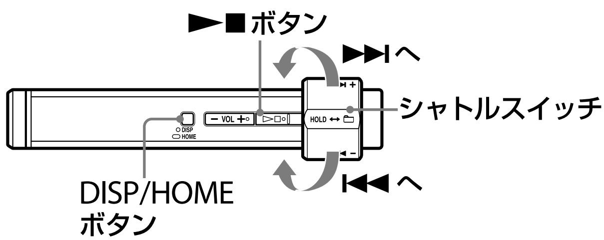
1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

モノラル/ステレオを切り換える（Mono/Auto）

FM放送を受信中に雑音が多いときは、モノラル「Mono」に設定してください。オート「Auto」に設定している場合は、受信時の状態によって自動的にステレオかモノラルに設定されます。
お買い上げ時の設定は「Auto」に設定されています。



1. ホーム画面が表示されるまでDISP/HOMEボタンを押し続ける。
2. シャトルスイッチを回して （SETTINGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. シャトルスイッチを回して「Mono/Auto>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. シャトルスイッチを回して「Mono」を選び、►■ボタンを押して決定する。

受信感度を元に戻すには

手順4で「Auto」を選び、►■ボタンを押します。

1階層上のメニューに戻るには

DISP/HOMEボタンを押します。

本機の充電について

本機はパソコンと接続することによって、充電されます

本機とパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを使います。

電池残量表示が になったら、充電完了です（充電時間：約45分*）。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が になるまで連続して充電することをお勧めします。

* USB接続方法（☞56ページ）が「500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（☞13ページ）の電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、98ページをご覧ください。



目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「DATA ACCESS」と本機の表示窓に表示されます。「DATA ACCESS」と表示されている間は、本機をパソコンから抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機の操作はできません。

目次
メニュー
索引

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

画面表示を消す

一定時間（約15秒）操作がないときに画面表示を消す設定にすると、電池の消耗を抑えられます。
設定方法は、「省電力画面に設定する（Power Save）」（☞59ページ）をご覧ください。

音楽ファイル形式やビットレートを変える

曲のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）*が変わります。
ATRAC 48kbpsは約18時間、WMA 128kbpsは約15時間再生できます。なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

G Sensorを無効にする

本機には、さまざまな機能を楽しんでいただくために加速度を検知するG Sensorが搭載されています。しかし、この機能を有効にしている場合は、無効にしている場合よりも電池を消耗します。このため、電池を長持ちさせたい場合はG Sensorを無効にすることをおすすめします（☞43ページ）。

再生待機状態にする

►■ボタンを押して再生またはFM放送の受信を停止すると、数秒後に自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。
再生待機状態でG Sensorが無効になっているときは、電池の消耗はほとんどありません。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG（エムペグ）-1 Audio（オーディオ） Layer（レイヤー）3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Audio（オーディオ）の略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング））は、ATRAC3およびATRAC3Plusの総称で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。ATRAC3では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、ATRAC3plusでは、約20分の1に圧縮できます。

AAC：Advanced（アドバンスト） Audio（オーディオ） Coding（コーディング）の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞97ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC形式でSonicStageに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、全曲まとめて一度に同じビットレートのATRAC形式で取り込む必要があります。

目次
メニュー
索引

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USBケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSBケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（☞54ページ）で行ってください。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

1 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。

2 本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。

3 アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。
これでファームウェアのアップデートは完了です。

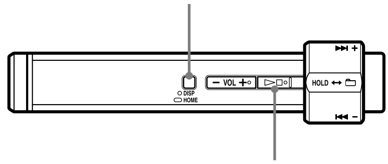
目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 DISP/HOME ボタンと ►■ ボタンを同時に 7 秒間以上押して、本機をリセットする。

本機をリセットしても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。



2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 SonicStage を使用しているときは、SonicStage のヘルプで調べる。

4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

5 手順 1 ～ 4 を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞102 ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因 / 処置
再生音が出ない	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（☞10 ページ）。 • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞12 ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。 • 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
雑音が入る	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している → 携帯電話などを本機から離して使用してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
ボタン操作に反応しない	• シャトルスイッチがHOLDの位置になっている ➔ シャトルスイッチを通常モード（中央の位置）にしてください（☞11ページ）。 • 結露している ➔ そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない、または消耗している。 ➔ 充分に充電してください（☞70ページ）。 ➔ 充電しても反応しない場合は、DISP/HOMEボタンと►■ボタンを同時に7秒間以上押して本機をリセットしてください（☞77ページ）。
本機が動作しない	• 電池が消耗している ➔ 充分に充電してください（☞70ページ）。 ➔ 充電しても反応しない場合は、DISP/HOMEボタンと►■ボタンを同時に7秒間以上押して本機をリセットしてください（☞77ページ）。
転送した曲が見つからない	• Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した ➔ 本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞54ページ）。 • 転送中、本機からUSBケーブルが抜けた ➔ 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機のFormatメニューで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞54ページ）。
再生音が大きくならない	• AVLSが設定されている ➔ AVLS設定を解除してください（☞39ページ）。
右チャンネルから音が出ない	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない ➔ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞12ページ）。
再生していたら急に音が止まった	• 電池が消耗している ➔ 充電してください（☞70ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因／処置
Music Pacer機能（☞24ページ）を使ってもプレイリストが変わらない	• 本機が歩調を正確に感知できていない → 本機をご利用の際は、付属のクリップまたはアームバンドに装着して使用することをおすすめします（☞7ページ）。ただし、次のような場合や装着状態によっては、歩調を正確に感知できないことがあります。 － ストラップ（別売り）で首や腰、バッグなどからぶら下げたとき － 不規則に揺れるバッグの中 － 乗り物に乗車中の上下運動や横揺れ － 上下運動や振動の多い激しいスポーツ
本機を3回振ってもプレイモードが変わらない	• 本機の振りかたが正しくない → 21ページのイラストのように、本機の表示窓を上向きにして、2秒に3回のリズムで上下に振ってください。 • G Sensorメニューが「OFF」になっている → G Sensorメニュー（☞43ページ）が「OFF」の場合、この機能は使えません。「ON」に設定してから本機を振ってください。

表示窓

症状	原因／処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

充電

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない → 本機のUSB接続方法（USB Power）が「100mA」になっている場合は、長めに充電してください（☞56ページ）。 • G Sensorメニューが「ON」になっている → G Sensorメニュー（☞43ページ）が「OFF」の場合よりも電池を消耗します。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞71ページ）。 • 充電式電池の交換が必要 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇩

本体の操作（つづき）

症状	原因 / 処置
充電できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → 付属のUSBケーブルを使用してください。

パソコンとの接続 /SonicStage

症状	原因 / 処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている → パソコンの動作環境を確認してください（☞99ページ）。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない → ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない → ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている → Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。
インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStageが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/support-pa/）のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
USBケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → 付属のUSBケーブルを使用してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 • SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上でほかのソフトウェアが起動している → しばらくしてから、USBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、USBケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 本機のUSB接続方法（USB Power）が「500mA」になっている → USB接続方法（USB Power）を「100mA」にしてください（☞56ページ）。 • ソフトウェアのインストールに失敗している → 付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している → USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
転送できない	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	• 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に音楽以外のデータが入っている → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで ☒ をクリックして削除してください。 • 転送元のパソコンで曲を削除した → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	• USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。付属のUSBケーブルで直接パソコンと接続してください。

目次
メニュー
索引

FMチューナー

症状	原因／処置
FM放送が よく聞こえない	● 受信している周波数が適切でない ➔ 放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（☞65ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い ➔ 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している ➔ 携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	● Beepの設定が「OFF」になっている ➔ メニューで「Beep」の設定を「ON」にしてください（☞40ページ）。
本体が温かくなる	● 充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示窓にメッセージが出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	USBケーブルを抜いたあとや、本機をリセット（☞77ページ）したあとに表示される。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください（☞39ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに表示されます。
DRM ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
EXPIRED	期限付きの音楽データを再生しようとしている。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。
HOLD	シャトルスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、シャトルスイッチを通常モード（中央の位置）にスライドしてください（☞11ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（☞70ページ）。
MEMORY ERROR	内蔵フラッシュメモリーが壊れている。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。 それでも表示されるときは、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DATABASE	音楽データの転送中に、本機とパソコンの接続が切れてしまった。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞87ページ）をご覧ください。
NO ITEM	選択した項目の音楽データがない。	付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから（☞67ページ）、再度登録してください。
SET RUN P.LIST	「SPORTS MODE」のSet Playlist（自動選曲）メニューでプレイリストを変更するときに表示される。	歩調が速いときに聞きたいプレイリストを選択してください（☞26ページ）。
SET WALK P.LIST	「SPORTS MODE」のSet Playlist（自動選曲）メニューでプレイリストを変更するときに表示される。	歩調が遅いときに聞きたいプレイリストを選択してください（☞26ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
SYSTEM ERROR	ハードウェアが壊れています。	ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
UPDATE ERROR	ファームウェアのアップデートに失敗したときに表示される。	パソコンに表示される案内に従ってやり直してください。
USB CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「DRM ERROR」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MEMORY ERROR」、「NO DATABASE」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。

その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1. **本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。**
2. **データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。**
3. **それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。**
4. **パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（☞54ページ）。**

目次
メニュー
索引

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」[1]をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」[2]をダブルクリックする。

3 一覧から「SonicStage X.X」を選び、「削除」をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1）Windows 2000 Professionalでは「設定」→「コントロールパネル」
2）Windows 2000 Professionalでは「アプリケーションの追加と削除」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

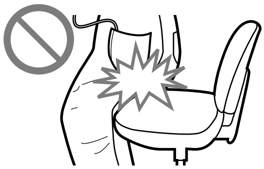
本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

ご使用について

- ストラップ（別売り）をつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。
- 本機（ヘッドホンを除く）は、多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構*になっていますが、次の点に充分ご注意ください。
  - 大量に水をかけない。
  - 水中に落としたり、水の中につけない。
  - USBケーブル接続ジャック（☞ 12ページ）のふたを、異物が入らないようにして、しっかり閉める。

* 防滴の種類は防滴Ⅱ型（JIS C0920 IPX2）です。

- 本機は、シャトルスイッチに磁石を使用しています。本機からの磁力の漏れは通常の使用において支障をきたしませんが、万一を考慮して磁力を受けると誤動作するおそれのある機器や磁気カードには近づけないでください。また、砂浜や砂場では使用しないでください。本体に傷が付いたり、シャトルスイッチの故障の原因となります。
- 付属のアームバンドをお使いになる場合は、バンドを締め過ぎないようにご注意ください。血流に支障をきたすおそれがあります。

お手入れ

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布（ 市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。楽曲を削除される場合は、SonicStage上で行って頂きますようお願いいたします。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

本機を廃棄するときのご注意

Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様ご相談センター」にご相談ください。(「お客様ご相談センター」の連絡先は最終ページに記載されています。)

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Computer, Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe,Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生信号圧縮方式（再生できる音楽ファイル形式）

– MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）
– Windows Media Audio（WMA）*
– Adaptive Transform Acoustic Coding（ATRAC）
– Advanced Audio Coding（AAC）*

* 著作権保護されたWMA/AACファイルは、再生できません。

記録できる最大曲数と時間の目安*

* 1曲4分のATRAC形式およびMP3形式の曲を転送した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

	NW-S203F		NW-S205F	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	685曲	約45時間40分	1,350曲	約90時間00分
64 kbps	515曲	約34時間20分	1,000曲	約66時間40分
96 kbps	345曲	約23時間00分	690曲	約46時間00分
128 kbps	260曲	約17時間20分	520曲	約34時間40分
132 kbps	250曲	約16時間40分	500曲	約33時間20分
160 kbps	205曲	約13時間40分	415曲	約27時間40分
192 kbps	170曲	約11時間20分	345曲	約23時間00分
256 kbps	130曲	約 8時間40分	260曲	約17時間20分
320 kbps	100曲	約 6時間40分	205曲	約13時間40分
352 kbps	94曲	約 6時間10分	185曲	約12時間20分

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

容量（ユーザー使用可能領域）*

NW-S203F: 1 GB（約 968 MB = 1,015,726,080 バイト）
NW-S205F: 2 GB（約 1.89 GB = 2,035,974,144 バイト）

* 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

対応ビットレート

MP3：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
WMA：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
ATRAC：48 / 64 / 66（ATRAC3）* / 96 / 105（ATRAC3）* / 128 / 132（ATRAC3）/ 160 / 192 / 256 / 320 / 352 kbps

* SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

AAC：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*

* サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

サンプリング周波数*

MP3：32、44.1、48 kHz
WMA：44.1 kHz
ATRAC：44.1 kHz
AAC：11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

* すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

周波数特性*

20 ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

FM放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz、TV* 1 ～ 3CH

* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

IF(FM)

375 kHz

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

電池持続時間*

ATRAC形式の場合：約18時間（132 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約17時間（128 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約18時間（48 kbps再生時）
MP3形式の場合：約17時間（128 kbps再生時）
WMA形式の場合：約15時間（128 kbps再生時）
AAC形式の場合：約18時間（128 kbps再生時）
FM放送受信時：約5時間

* 省電力設定（☞59ページ）が「ON-Super」、音質設定（Equalizer）（☞35ページ）が「OFF」、G Sensor設定（☞43ページ）が「OFF」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

最大外形寸法

15.0 × 96.5 × 15.0 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量

約26 g（JEITA）*

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

動作環境（本機）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  - Windows 2000 Professional（Service Pack 3以降）
  - Windows XP Home Edition
  - Windows XP Professional
  - Windows XP Media Center Edition 2004
  - Windows XP Media Center Edition 2005

  上記以外のOSでは動作保証いたしません。
- CPU
  Pentium III 450 MHz以上
- メモリ
  128 MB以上
- ハードディスクドライブ
  200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROM ドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RW ドライブが必要です。
- サウンドボード
- USB ポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 5.5以上がインストールされている必要があります。
- CDDB やインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保障するものではありません。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOS から他のOS へのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

記号

あ行

か行

さ行

た行

は行

次のページにつづく

目次
メニュー
索引

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ**
  （下記電話・FAX番号）
  本機の商品カテゴリーは［ウォークマン］－［ウォークマンAシリーズ、Eシリーズ、Sシリーズ］です。
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名： NW-S203F / S205F
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面に記載
      メニュー画面の (SETTINGS) –「Advanced Menu」–「Information」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

  ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
  質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社
〒108-0075
東京都港区港南
1-7-1

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　　**お客様ご相談センター**
- ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX　0466-31-2595　　受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00